

## 令和7年度事業計画（案）

令和7年度は、昨年8月にフランス国で開催された2024パリオリンピックが終了し、次の目標である2028ロサンゼルス、2032ブリスベンオリンピックに向けての強化、普及活動そして本協会の健全な運営を目的に事業展開をしていく。

運営面では、令和7年度も各都道府県協会並びに関係諸団体・組織との連携・協力のもと、ウエイトリフティング競技の発展と普及を図るため各種事業を推進する。そして、本協会の安定した運営・経営については事務局体制を強固なものとし、協会役員及び各委員会が結束して事業の計画、実行、そして振り返りのPDCAを実施する。また、引き続き本協会が策定した「スポーツ競技団体ガバナンスコード」により、継続的に健全な組織団体としての運営を目指し、中・長期計画を実行し、選手強化、競技人口の拡大、国際レベルの競技運営能力、国際発信力の向上並びに財政の確立等を行っていく。更に、ガバナンスの向上を深め社会的責任を自覚し、公益社団法人としての使命を果たす。

強化面では、2028ロサンゼルスオリンピックで「男女のメダル獲得」を目標に掲げ、本年の最大目標は10月に新階級で実施される2025世界選手権大会において上位入賞を目指し、それに伴う強化事業を計画した。そのためには、ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）の事業連携と味の素ナショナルトレーニングセンター（NTC）及び国立スポーツ科学センター（JISS）の活用、そして選手及びスタッフ等が万全の態勢で臨めるよう事業を進める。

また、恒久的にオリンピック競技大会や世界で活躍できる選手を育成するため、ナショナルトレーニングシステム（競技者育成プログラム）の充実を図り、2032年ブリスベンオリンピック大会以降の対策として若手選手育成事業を継続していく。併せて普及活動の一環として、小・中学生の素材のあるタレント発掘・育成も進めていく。

そして、2026年9月アジア最大イベントである「第20回アジア競技大会」が愛知県名古屋市で開催されることから、これまでの国内で国際大会を開催した経験や2020東京オリンピック大会の運営力を生かし、愛知・名古屋組織委員会及びアジア連盟の協力を得て大会準備を進める。

### 【公益事業】

#### I. 競技力向上事業

##### 1. 選手強化事業

競技者が人間の可能性の極限を追求し、国内外の競技会等で活躍することは、国民に誇りや喜び、夢と感動をもたらすと同時に競技の普及・振興に寄与するものである。この目的達成のために、以下の選手強化及び指導者育成に取り組む。また、スポーツ医科学の面から支援する必要があるため、ハイパフォーマンススポーツセンターの各種サポートを活用し、効果的な事業を展開する。

##### (1) 国内合宿

公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、強化拠点である「味の素ナショナルトレーニングセンター専用練習場」を中心に、国際競技力の向上を目標に実施する。

また、2028ロサンゼルス、2032ブリスベンオリンピック対策として、ナショナル及び次世代選手育成等の強化を推進する。

#### 【ナショナル合宿】

No	合宿名	期 間	指導者数	選手数	場 所
1	国内合宿 (ナショナル合宿 男子)	5/ 7～ 5/14	3名	7名	東京都 NTC
2	国内合宿 (ナショナル合宿 女子)	5/ 7～ 5/14	3名	7名	東京都 NTC
3	国内合宿 (ナショナル合宿 男子)	5/25～ 5/31	3名	7名	東京都 NTC
4	国内合宿 (ナショナル合宿 女子)	5/30～ 6/ 4	3名	7名	東京都 NTC
5	国内合宿 (ナショナル合宿 男子)	6/11～ 6/18	3名	7名	東京都 NTC
6	国内合宿 (ナショナル合宿 女子)	6/18～ 6/24	3名	7名	東京都 NTC
7	国内合宿 (ナショナル合宿 男女)	7/ 9～ 7/15	4名	14名	富山県 滑川市
8	国内合宿 (ナショナル合宿 男子)	7/21～ 7/30	3名	7名	東京都 NTC
9	国内合宿 (ナショナル合宿 女子)	7/30～ 8/ 6	3名	7名	東京都 NTC
10	国内合宿 (ナショナル合宿 男子)	8/21～ 8/30	3名	7名	東京都 NTC
11	国内合宿 (ナショナル合宿 女子)	8/27～ 9/ 3	3名	7名	東京都 NTC
12	国内合宿 (ナショナル合宿 男子)	9/24～10/ 6	4名	7名	東京都 NTC
13	国内合宿 (ナショナル合宿 女子)	9/24～10/ 6	4名	7名	東京都 NTC
14	国内合宿 (ナショナル合宿 女子)	12/15～12/23	3名	7名	東京都 NTC
15	国内合宿 (ナショナル合宿 男子)	1/ 5～ 1/14	3名	7名	東京都 NTC
16	国内合宿 (ナショナル合宿 女子)	1/ 5～ 1/14	3名	7名	東京都 NTC

17	国内合宿	(ナショナル合宿 男子)	2/ 8～ 2/14	3名	7名	東京都	NTC
18	国内合宿	(ナショナル合宿 女子)	2/14～ 2/20	3名	7名	東京都	NTC
19	国内合宿	(ナショナル合宿 男子)	3/16～ 3/24	3名	7名	東京都	NTC
20	国内合宿	(ナショナル合宿 女子)	3/16～ 3/24	3名	7名	東京都	NTC

〔次世代育成合宿〕

No	合宿名	期 間	指導者数	選手数	場 所
1	国内合宿 (世界Jr/ユース代表合宿)	4/24～ 4/29	7名	10名	東京都 NTC
2	国内合宿 (次世代育成合宿)	5/25～ 5/31	2名	5名	東京都 NTC
3	国内合宿 (次世代育成合宿)	5/30～ 6/ 4	2名	5名	東京都 NTC
4	国内合宿 (中学生選抜合宿)	7/ 5～ 7/ 6	8名	12名	東京都 NTC
5	国内合宿 (日韓中Jr代表合宿)	8/20～ 8/22	6名	16名	東京都 NTC
6	国内合宿 (次世代育成合宿)	8/24～ 8/30	4名	10名	新潟県 津南町
7	国内合宿 (大学生選抜合宿)	9/19～ 9/21	3名	12名	東京都 NTC
8	国内合宿 (次世代育成合宿)	10/18～10/20	2名	4名	東京都 NTC
9	国内合宿 (大学生・高2選抜合宿)	10/24～10/26	4名	21名	東京都 NTC
10	国内合宿 (中学生選抜合宿)	11/ 8～11/ 9	8名	12名	東京都 NTC
11	国内合宿 (大学生選抜合宿)	11/12～11/15	4名	14名	東京都 NTC
12	国内合宿 (フレンドシップ大会代表合宿)	大会期日未確定	6名	16名	東京都 NTC
13	国内合宿 (世界ジュニア候補合宿)	1/ 5～ 1/10	3名	10名	東京都 NTC
14	国内合宿 (次世代育成合宿)	2/ 8～ 2/14	2名	5名	東京都 NTC
15	国内合宿 (次世代育成合宿)	2/14～ 2/20	2名	5名	東京都 NTC

〔研修合宿〕

No	合宿名	期 間	指導者数	選手数	場 所
1	国内合宿 (大学生研修合宿)	9/ 9～ 9/12	6名	24名	東京都 NTC
2	国内合宿 (中学生/高1年生研修合宿)	9/13～ 9/15	12名	20名	東京都 NTC
3	国内合宿 (Jrユース研修合宿)	12/24～12/27	30名	60名	全国6地区
4	国内合宿 (Jrエリート研修合宿)	12/24～12/28	8名	24名	東京都 NTC

(2) 海外合宿

- ① 公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、国際競技力の向上を目標に実施する。

合宿名 : ナショナル合宿 男子 (韓国)  
 期 間 : 令和7年12月15日～12月21日  
 場 所 : 韓国  
 参加者 : 指導者2名、選手4名、計6名

- ② 公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、国際力(国際人の養成)及び国際競技力の向上を目標に実施する。

合宿名 : 大学生海外研修合宿(米国)  
 期 間 : 令和8年2月8日～2月17日  
 場 所 : アメリカ合衆国 ルイジアナ州立大学シュリーブポート校  
 参加者 : 指導者2名、選手4名、計6名

(3) 国際競技会への派遣

国際競技力の評価は、国際競技会での成績が中心となる。本会は、恒久的オリンピック選手育成の観点(一定レベルの競技力を有する)から年代別の競技会に優秀選手を次の大会へ派遣し競技力の向上に資する。

- ① 2025世界ユース・ジュニア選手権大会 「次世代育成事業」

開催期間 : 令和7年4月30日(水)～ 5月5日(月)  
 派遣期間 : 令和7年4月27日(日)～ 5月7日(水)  
 場 所 : ペルー国 リマ市  
 派遣人数 : 指導者6名、男子選手4名 女子選手6名 計10名

- ② 日・韓・中ジュニア交流競技会 「日本スポーツ協会主催」

開催期間 : 令和7年8月26日(火)・27日(水)  
 派遣期間 : 令和7年8月23日(土)～ 8月29日(金)  
 場 所 : 中華人民共和国 内モンゴル自治区  
 派遣人数 : 指導者5名、男子選手8名、女子選手8名 計21名

- ③ 日韓中フレンドシップ大会「次世代育成事業」

- 開催期間 : 令和7年 月 日 ( ) ~ 令和7年 月 日 ( ) 会期未定  
 派遣期間 : 令和7年 月 日 ( ) ~ 令和7年 月 日 ( )  
 場 所 : 中華人民共和国  
 派遣人数 : 指導者6名、男子選手8名 女子選手8名 計22名
- ④ 世界選手権大会「NF強化事業」  
 開催期間 : 令和7年10月 3日(金) ~ 10月12日(日)  
 派遣期間 : 令和7年 9月29日(月) ~ 10月13日(月)  
 場 所 : ノルウェー国 フェルダ市  
 派遣人数 : 指導者6名、男子選手7名 女子選手7名 計20名
- ⑤ アジアユースゲーム 「JOC派遣・次世代育成事業」  
 開催期間 : 令和7年10月22日(水) ~ 10月31日(金) 競技実施未決定  
 派遣期間 : 令和7年10月 日 ( ) ~ 10月 日 ( )  
 場 所 : バーレーン王国 マナーマ市  
 派遣人数 : 指導者 名、選手 名
- ⑥ アジアジュニアユース選手権大会「次世代育成事業」  
 開催期間 : 令和7年 月 日 ( ) ~ 月 日 ( ) 会期未定  
 派遣期間 : 令和7年 月 日 ( ) ~ 月 日 ( )  
 場 所 : 未定  
 派遣人数 : 指導者 名、選手 名
- (4) 国際大会(国内)開催  
 令和7年度なし
- (5) スポーツ医・科学研究事業との連携に基づく強化
- ① 日本スポーツ振興センター(JSC)・国立スポーツ科学センター(JISS)・日本オリンピック委員会(JOC)よりのハイパフォーマンス事業(HPSC)を受ける。  
 ア) 栄養、心理、トレーニング、情報、科学の各分野が連携した医・科学支援を、継続して依頼する。  
 イ) ウェイトリフティングの技術について、国内・外大会でのビデオカメラ撮影を依頼し、動作解析して、選手・指導者へのフィードバックをすると共に、その内容について、全国指導者研修会・会報等を通して周知を図り競技力の向上に資する。  
 ウ) フィットネスの面では、体力の把握に基づくトレーニング効果の検証とトレーニングの方向性の客観的指標の提示を依頼する。
- ② ミズノスポーツ振興財団の助成により、ウェイトリフティング選手の競技会での外傷調査、整形外科及び内科疾患の関りについて次の調査研究を実施する。  
 ・主要競技会での救護体制強化と外傷・障害の発生頻度の調査・分析を行う。  
 ・競技と整形外科疾患の相関性に関する継続的な研究。  
 ・内科疾患に焦点を当てた新たな調査。
- (6) ハイパフォーマンスディレクター及びナショナルコーチ等の推薦  
 公益財団法人日本オリンピック委員会の事業制度を活用し、中長期的な強化戦略プランを計画  
 ・立案・策定し、競技団体強化責任者として強化活動を統括する、ハイパフォーマンスディレクター(HPD)の推薦、また味の素ナショナルトレーニングセンター専用施設の有効活用と選手強化のコーチングの任に当たるためのコーチ等設置事業制度を活用し、ナショナルヘッドコーチ・ナショナルチームコーチ等を推薦する。

## 2. コーチの資質向上を目的とする事業

- (1) 全国指導者研修会  
 ウェイトリフティング指導者の資質と指導力の向上及び指導者間の情報交換並びに連携を図ることを目的に開催する。  
 期 日 令和8年2月7日(土)・8日(日)  
 会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター  
 指導者 5名、参加者 50名(予定)
- (2) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者専門教科講習会講師の派遣  
 日本スポーツ協会の委託事業として次の事業を実施する。
- ① 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者「コーチ1」養成(専門教科)講習会  
 期 日 1回目 令和7年9月13日(土)~9月15日(月・祝)  
 時 間 40時間  
 会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター

- 指導者 8名、 受講者 25名 (予定)
- (3) 「JWA×NSCAジャパン ウェイトリフティング実技検定」指導者育成事業  
令和5年度よりスタートした標記検定は、NSCA (ナショナル・ストレスレングandコンディショニング協会) とウェイトリフティング指導者育成事業で本競技種目、補助種目の実技が教えられることから、これらの受講者に対し、正しいトレーニング技術を教える事業内容の充実を行う。

## II. 競技者育成事業

### 1. 研修合宿開催

一貫指導システム (ナショナルトレーニングシステム) の理念と方法に基づき、競技者の発掘及び育成を図ることを目的に次の研修合宿を実施する。

この事業は、(スポーツ振興くじ助成事業) として補助を受けて開催する。

- (1) 大学生研修合宿 (ジュニア スペリオリティー)  
各種競技会の成績を基に、ジュニア年代の学生をセレクションし、中央にて研修合宿を実施する。  
期間 : 令和7年 9月9日 (火) ~ 9月12日 (金) (3泊4日)  
場所 : 味の素ナショナルトレーニングセンター  
指導者 : 6名 参加者 : 24名
- (2) 中学生・高1研修合宿 (ディベロップメント)  
都道府県協会に中学生及び高校1年生の優秀競技者の情報提供を依頼し、選手強化委員会の専門グループがセレクションした選手を対象に研修合宿を実施する。  
期間 : 令和7年 9月13日 (土) ~ 9月15日 (月) (2泊3日)  
場所 : 味の素ナショナルトレーニングセンター  
指導者 : 12名 参加者 : 20名
- (3) ジュニアエリート研修合宿  
各種競技会の成績を基に、優秀な高校2・3年生をセレクションし、中央にて研修合宿を実施する。  
期間 : 令和7年12月24日 (水) ~ 12月28日 (日) (4泊5日)  
場所 : 味の素ナショナルトレーニングセンター  
指導者 : 8名 参加者 : 24名
- (4) ジュニアユース研修合宿  
都道府県協会よりの優秀競技者の情報及び各種競技会の成績を基に、優秀な中学生及び高校1年生を対象に全国を6地区に区分して研修合宿を実施する。  
期間 : 令和7年12月24日 (水) ~ 12月27日 (土) (3泊4日)  
場所 : 全国を (北海道・東北、関東、北信越・東海、近畿、中国・四国、九州) 6地区に分けて実施する。  
指導者 : 各地区5名の計30名 参加者 : 各地区10名の計60名

### 2. 2032年・2036年対策競技者発掘・育成事業支援

・2032ブリスベン・2036オリンピック対策として、都道府県で競技者のタレント発掘・育成事業開催についての財政的支援を行い、優秀選手の発掘のため、オリンピック等のトップ選手やトップコーチによる講演会等も開催する。

## III. 振興・教育事業

会員の状況及び役員・選手の登録を把握し、競技者規程・競技規則の周知、記録の公認、審判員の養成、国際交流、アンチ・ドーピング活動及びコンプライアンスの徹底等は、競技の透明性や公平・公正性を向上させることに繋がり、安全かつ公正な環境下でスポーツに参画できる機会を充実させるための基礎条件である。スポーツを通じて、他者を尊重しこれを共同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度等を培っていくためにも重要であることから次の事業を行う。

### (1) スポーツ外交の推進

2025年5月に国際ウェイトリフティング連盟 (IWF)、2年後にアジア連盟の改選が行われるため、日本のIF・AF役員、委員会委員が引き続き立候補するために、継続してロビー活動を行う。

### (2) 生涯スポーツの振興

令和9年5月に延期された「ワールドマスターズゲームズ2027関西」(開催地徳島県鳴門市) 参加を目指し、また、世界での長寿国を目指し健康保持増進の目的で、力強く、楽しく競技

を行っている選手がいる。目標を持ち人生においてもウエイトリフティング競技を生涯スポーツとして捉え、各マスターズ大会に参加する。また、全日本マスターズ選手権大会を開催する。

(3) 情報の収集と情報誌の発刊

① IWF及びAWFの会議及び大会に代表者を派遣し、情報収集と併せてIWF・AWFとの連携を図るため役員を派遣する。

・世界ユース・ジュニア選手権大会 (IWF関係会議)

期日：令和7年 4月30日～5月5日

場所：ペルー共和国 リマ市

・アジア選手権大会 (AWF関係会議)

期日：令和7年 5月 9日～5月15日

場所：中華人民共和国 浙江省 江山

・世界選手権大会 (IWF関係会議)

期日：令和7年10月 3日～10月15日

場所：ノルウェー国 フェルデ市

・アジアユース・ジュニア選手権大会 (AWF関係会議)

期日：令和7年 月 日～ 月 日

場所：未定

② スポーツ振興くじの助成を受けて、令和6年度年鑑、会報147号、148号、149号を発刊する。主な内容は次のとおり。

年鑑：令和6年度の協会主催競技会及び主要国際大会の成績

協会組織図、協会役員名簿、都道府県協会役員名簿、令和7年度事業、

公認最高記録及び記録樹立表、ランキング表等

会報：令和7年度事業計画、各種事業報告、大会講評、ブロック大会以上の競技会

及び主要国際大会の成績、各種研究成果報告

(4) 用器具等の検定及び公認

記録競技(重量)であることから、バーベルをはじめ使用器具が適確でなければならない。本協会器具公認認定規則に基づき、高品質で絶対の安全性と機能性のあることを確認するなかで申請のあった器具に対して認定手続きをすすめる。

(5) 顕彰

本協会表彰規程に基づき、功労賞、優秀選手賞、優秀指導者賞の表彰を、また、役員等の感謝状贈呈に関する基準により顕彰を行う。

表彰式は、臨時社員総会終了後に行う。

(6) アンチ・ドーピング活動

スポーツ界ではドーピング違反行為によりスポーツの価値を損ない、フェアプレイの精神が欠如しかかっている。競技者の健康を害する反社会的行為であるドーピングに対する啓発と検査実施により撲滅に努める。スポーツのフェア・価値を守る。

① 啓発・教育活動

・JADAが作成したドーピング防止ガイドブック(対象者別)を選手、アスリートサポートスタッフに配付し情報を提供する。

・各種競技会前の監督会議にて最新情報を伝達し、啓発・教育活動を行う。

・アウトリーチを全国高等学校選手権及び国民スポーツ大会等で開催する。その際は、協会独自の教材も配布し情報を提供する。

② 講習会・研修会、アウトリーチの開催

スポーツ振興くじの助成及びJADAの助成を受けて、次の事業を実施する。

・世界ジュニア、ユース代表選手対象講習会

4月 味の素ナショナルトレーニングセンター

・全国高校総合体育大会参加者対象 アウトリーチ

8月2日～5日 鳥取県米子市 米子コンベンションセンター

・世界選手権大会代表選手対象講習会

8月～9月 味の素ナショナルトレーニングセンター

・大学生研修合宿参加者講習会

9月 9日 味の素ナショナルトレーニングセンター

・ジュニアユース研修合宿参加者講習会

9月13日 味の素ナショナルトレーニングセンター

・全日本社会人選手権大会・全日本女子選抜選手権大会参加者講習会

11月19日 青森県平川市 ひらかわドリームアリーナ

- ・ジュニアエリート研修合宿参加者講習会  
12月24日 味の素ナショナルトレーニングセンター
- ・北海道・東北地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会  
12月25日
- ・関東地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会  
12月25日
- ・北信越・東海地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会  
12月25日
- ・近畿地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会  
12月25日
- ・四国・中国地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会  
12月25日
- ・九州地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会  
12月25日

③ ドーピング検査

- ・日本スポーツフェアネス推進機構、JADA、WADA(ITA)の下、競技会検査及び競技会外検査を実施する(全日本選手権大会等で尿検査・血液検査を実施する)。
- ・日本スポーツ協会が国民スポーツ大会時に行う検査に協力する。

④ TUE申請大会の指定によるその実践

世界選手権大会等の国際大会出場者には、TUEの申請が不可欠である。国内競技会においては徹底されていない状況であることから、次の大会を指定し申請の徹底を図りアンチ・ドーピングの意識高揚を促す。

- ・全日本選手権大会 ・全日本社会人/全日本女子選抜選手権大会
- ・国民スポーツ大会(JADA管轄)

⑤ ADAMSへの居場所情報提出の徹底

- ・JOC認定の強化指定選手及びIWFからの指定選手並びに国際大会参加選手は、居場所情報をADAMSへ提出する義務がある。期限内提出をしない(含む不備、更新)及び情報に基づく競技会外検査で検査に対応できない場合は居場所情報関連義務違反としてペナルティの対象となることから居場所情報提出、更新の徹底を指導する。
- ・提出の確認・督促、最新情報の提供等をメール等で共有し未提出をなくす。

(7) 審判員の資質向上

① 審判講習会の開催

本競技は、判定に対する抗議権がない。判定は公正・公平であり選手に不利益がないように、審判員の資質の向上を目的に次の講習会を開催する。

- ・対象者： 国内1級審判資格、国際審判資格所持者(義務研修)及び令和7年度国内1級審判を受験希望する審判員を対象とする。
- ・講習会：
 

北海道	期日	:	令和7年	8月16日(土)
	場所	:	北海道	士別市総合体育館
	講師	:	三上正洋	委員
東北地区	期日	:	令和7年	8月22日(金)
	場所	:	宮城県	宮城県農業高校
	講師	:	佐藤ひろみ	委員
関東地区	期日	:	令和7年	9月6日(土)
	場所	:	東京都	味の素NTC
	講師	:	磯村賢一	委員
東海地区	期日	:	令和7年	8月16日(土)
	場所	:	静岡県	静岡市
	講師	:	豊田廣和	委員
北信越地区	期日	:	令和7年	8月23日(土)
	場所	:	富山県	滑川市
	講師	:	牛山成剛	委員
近畿地区	期日	:	令和7年	8月15日(金)
	場所	:	奈良県	奈良ジェイテクトアリーナ
	講師	:	島田隆宏	委員長
中国地区	期日	:	令和7年	8月22日(金)
	場所	:	鳥取県	岩美町

	講師	：	長谷章一	副委員長
四国地区	期日	：	令和7年	8月23日(土)
	場所	：	徳島県	徳島科学技術高校
	講師	：	瀬部浩司	委員
九州地区	期日	：	令和7年	8月22日(金)
	場所	：	長崎県	諫早市
	講師	：	佐藤好一郎	委員

② 国際大会へ審判員等を派遣し、資質の向上を図ると同時に国際基準での競技運営能力の向上に努める。(ノミネート候補)

・世界ユース・ジュニア選手権大会

開催期間：令和7年4月30日(水)～5月5日(月)

場所：ペルー国 リマ市

派遣人数：1名

・2025アジア選手権大会

派遣期間：令和7年5月9日(金)～5月15日(木)

場所：中華人民共和国 浙江省 江山

派遣人数：1名

・日韓中フレンドシップ大会

開催期間：令和7年 月 日( )～ 月 日( ) 会期末定

場所：中華人民共和国

派遣人数：2名

・アジアユースゲーム

開催期間：令和7年10月22日(水)～10月31日(金)

場所：バーレーン王国 マナーマ市

派遣人数：1名

・世界選手権大会

開催期間：令和7年10月3日(金)～10月12日(日)

場所：ノルウェー国 フェルダ市

派遣人数：1名

・2025アジアジュニアユース選手権大会

開催期間：令和7年 月 日( )～ 月 日( ) 会期末定

場所：未定

派遣人数：1名

(8) 審判員の審査と認定

申請に基づき公認審判員の審査を行い、適確に認定を行う。

(9) 競技規則集の更新版の作成と販売

国際連盟のルール改正に伴い更新する。また令和6年度発行の競技規則集を希望者に販売する。

(10) インテグリティ教育(ハラスメント行為撲滅活動及び選手・指導者の資質向上)の充実

・指導者及び選手に対して、人として反社会的行為、倫理観等についての教育

・暴力、パワハラ、セクハラ等の相談窓口の周知

些細なことでも相談できるシステムとして、本協会のホームページ(トップページ)にある「STOP ハラスメント・暴力」相談窓口を周知する。

・暴力、パワハラ、セクハラ、倫理等に係わる研修の実施

次の研修会・委員会・総会・会議、合宿時等を通じて研鑽を深める。指導者には十分注意喚起し、軽率な行動を取らない、巻き込まれない、常に競技を考えた行動遵守を選手にも伝達する。

全国指導者研修会

全国高等学校体育連盟ウエイトリフティング専門部全国委員会

全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技会監督会議

全日本学生ウエイトリフティング連盟総会

全国理事長会

・インテグリティ教育を選手及び指導者に実施

次の事業時にも教育・周知し、選手・指導者がより高い資質を持つようにする。

代表選手事前合宿または遠征前及び研修合宿時等

(11) ホームページの充実整備

法人として公開しなければならない情報はもとより、役員・選手のニーズに合わせた内容及び

一般のユーザーの要望にも応えられるようにする。

(12) 記録の公認

競技・競技会規則に基づき、日本記録を認定し公表する。公認の区分は男女同一で、日本記録、ジュニア日本記録、大学記録、高校記録、中学記録、マスターズ記録である。

また、IWFの新階級実施が本年6月より、日本は10月（国スポ以降）より実施されるため、新階級の日本記録設定も行う。

#### IV. 大会開催事業

##### 1. 国内大会開催事業

競技力の向上、競技の普及・振興、生涯スポーツの振興発展ため、次の大会を開催する。

- ① 大会名：第85回全日本選手権大会・第39回全日本女子選手権大会  
期日：令和7年4月24日～4月27日  
会場：福井県福井市 福井市体育館
- ② 大会名：第71回全日本学生個人選手権大会  
期日：令和7年5月16日～5月18日  
会場：大阪府羽曳野市 羽曳野コロセアム
- ③ 大会名：令和7年度第4回全国高校女子大会  
期日：令和7年7月12日・13日  
会場：石川県金沢市 医王山スポーツセンター
- ④ 大会名：第3回全国小学生交流大会  
期日：令和7年7月19日  
会場：茨城県高萩市 高萩市文化会館
- ⑤ 大会名：第39回全国男子中学生選手権大会・第24回全国女子中学生選手権大会  
期日：令和7年7月20日・21日  
会場：茨城県高萩市 高萩市文化会館
- ⑥ 大会名：第72回全国高等学校選手権大会・第26回全国高校女子選手権大会  
期日：令和7年8月8日～8月11日  
会場：鳥取県米子市 米子コンベンションホール
- ⑦ 大会名：第43回全日本マスターズ選手権大会  
期日：令和7年 月 日～ 月 日  
会場：
- ⑧ 大会名：第79回国民スポーツ大会  
期日：令和7年10月3日～10月7日  
会場：滋賀県安曇川市 安曇川高校体育館
- ⑨ 大会名：文部科学大臣杯第71回全日本大学対抗選手権大会2部  
期日：令和7年11月2日・3日  
会場：大阪府羽曳野市 はびきのコロセアム
- ⑩ 大会名：内閣総理大臣杯第62回全日本社会人選手権大会  
レディースカップ第17回全日本女子選抜選手権大会  
期日：令和7年11月19日～11月23日  
会場：青森県平川市 ひらかわドリームアリーナ
- ⑪ 大会名：文部科学大臣杯第71回全日本大学対抗選手権大会1部 女子  
期日：令和7年12月11日～12月14日  
会場：山梨県山梨市 山梨市民総合体育館
- ⑫ 大会名：JOCジュニアオリンピックカップ第46回全日本ジュニア選手権大会  
期日：令和8年2月21日～2月23日  
会場：茨城県高萩市 高萩市文化会館
- ⑬ 大会名：第70回全日本学生新人選手権大会  
期日：令和8年3月5日・6日  
会場：埼玉県上尾市 スポーツ総合センター
- ⑭ 大会名：第22回全日本学生選抜大会  
期日：令和8年3月7日・8日  
会場：埼玉県上尾市 スポーツ総合センター
- ⑮ 大会名：第41回全国高等学校選抜大会  
期日：令和8年3月26日～3月28日  
会場：石川県金沢市 金沢市総合体育館



## V. 会務

本会の目的達成及び業務を達成するため、次の会議を開催する。

### (1) 社員総会の開催

- ① 令和7年度 定時社員総会  
期 日 令和7年6月22日(日)  
場 所 東京都 味の素ナショナルトレーニングセンター
- ② 令和7年度 臨時社員総会  
期 日 令和8年3月20日(金・祝)  
場 所 東京都 味の素ナショナルトレーニングセンター

### (2) 理事会の開催

- ① 第1回理事会  
期 日 令和7年 6月7日(土)  
場 所 東京都 味の素ナショナルトレーニングセンター
- ② 第2回理事会  
期 日 令和7年 9月13日(土)  
場 所 東京都 味の素ナショナルトレーニングセンター
- ③ 第3回理事会  
期 日 令和8年12月6日(土)  
場 所 東京都 味の素ナショナルトレーニングセンター
- ④ 第4回理事会  
期 日 令和8年 3月1日(日)  
場 所 東京都 味の素ナショナルトレーニングセンター

## VI. 財政の確立

各種事業の推進に、独立行政法人日本スポーツ振興センター、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本スポーツ協会、スポーツ庁、公益財団法人ミズノスポーツ振興財団等に対し、助成金・委託金・補助金等の要望・申請を行い、本会の事業実施への充當財源に努める。

財政基盤確立のため、定款に基づく賛助会員の募集に努める。また、公益法人認定後は、本法人が免税募金を主体的に実施できることから、加盟団体及び関係者に広く募金を呼び掛ける。

- ・協賛企業の開拓を積極的に行い協賛契約締結の拡大に努める。
- ・国内大会開催における、大会広告スポンサー獲得に努める。
- ・免税寄付金の募集
- ・賛助会員の拡大
- ・登録者(役員・選手)の増大

## VII. 2028年、2032年、2036年(中期計画)に向けて

### (1) 選手強化計画

- ① 2028パリ、2032ブリスベンオリンピック対策強化戦略プランに基づく強化の推進
  - ・3年後及び7年後に向けての強化計画である「強化戦略プラン」の作成と実行。
  - ・2028ロサンゼルスオリンピック大会の目標設定  
「女子：メダル獲得と全員入賞 男子：メダル獲得と全員入賞」
- ② 11年後の2036年オリンピックに向けて  
中学生、高校生の育成強化「次世代アスリート育成」事業を推進
- ③ PDCAサイクルの確認に基づく強化の推進
- ④ 指導者の育成

### (2) 競技の普及振興対策

- ① 5000人対策プロジェクト推進
  - ・登録選手数(現在：役員約1000人、選手約3500人)を500人増やし5000人を目標とする
  - ・競技の露出の増大を図る
  - ・メディアとタイアップする
  - ・タレント発掘事業(普及目的事業)を継続して実施する
- ② 競技会開催による普及対策
  - ・小学生競技会を開催する

### (3) 国際発信力、国際大会運営能力の向上

- ① IWF・AWF役員等ポスト獲得事業の推進
    - ・令和11（2029）年国際ウエイトリフティング連盟役員改選及び委員会へ立候補し、当選を目指す。また、アジアウエイトリフティング連盟理事も引き続きロビー活動を継続する
  - ② 世界・アジアの各選手権大会及び国際総合大会へのテクニカルオフィシャルの派遣による国際大会運営能力の向上
- (4) 組織運営（ガバナンス、コンプライアンス、インテグリティ教育の向上）
- ① 事務局職員の分業化
  - ② 「スポーツ競技団体ガバナンスコード」に基づく中長期計画の実行
  - ③ 各委員会の充実のため業務執行理事の指導を仰ぐ
- (5) 国際大会の開催準備
- 競技力の向上、国際大会運営能力の向上及び競技の普及振興を目的とする。特にこれまでの国内国際大会の経験を活かし競技役員の運営力を更に高めて大会の開催準備をする。
- ・令和8（2026）年「第20回アジア競技大会（名古屋）」の開催準備を行う。
    - アジア連盟、愛知・名古屋組織委員会と共に次の事務担当者と綿密な情報共有をし、準備する。既に、アジア連盟テクニカル・デレゲイト（TD）、日本のスポーツコーディネーター（SPC）、テクニカルオペレーターマネージャー（TOM）、スポーツマネージャー（SPM）も設置済みである。
    - 会期：令和8年9月19日～10月4日（ウエイト会期 9月23日～9月29日予定）
    - 場所：愛知県名古屋市 中小企業振興会館ホール

以上